

# 第70回全日本体操団体選手権 大会要項

## 第71回全日本体操個人総合選手権トライアル

主催：（公財）日本体操協会 主管： 東京都体操協会

後援：（一財）上月財団

協賛： テーブルマーク 資生堂 三菱地所 明治 朝日生命 日本航空 ミズノ エアウィーヴ  
アミノバイタル セイコーホールディングス シミズオクト 東武トップツアーズ セノー

### 1. 期 日 平成28年11月11日（金）～13日（日）

11月 9日（水）	会場設営/会場練習（女子トライアル本会場練習）
11月10日（木）	会場練習（女子団体・男子団体・男子トライアル本会場練習）/女子監督会議
11月11日（金）	審判会議/男子監督会議 個人総合トライアル（男・女）/会場練習（団体サブ）
11月12日（土）	開会式/女子団体決勝/表彰式/会場練習
11月13日（日）	男子団体決勝/表彰式・ファンサービスイベント ※TV中継

### 2. 会 場 国立代々木競技場・第一体育館

〒150-0041 東京都渋谷区神南2-1-1 TEL 03-3468-1171(代表)

### 3. 参加資格と条件

#### (1) 男子団体

##### 1) 参加条件

①年齢制限は、中学3年生以上とします。

##### 2) 出場資格

①団体チーム出場は「別表1・通過基準」に該当することとします。

②チーム補欠としての登録選手は2名までとします。

<別表1・男子通過基準>

2016年度開催の下記大会の成績により出場権を与える。

	男 子	
大会 枠	インターハイ	2チーム
	全日本ジュニア選手権（1部）	1チーム
	「全日本学生選手権（1部・2部）」、「全日本シニア選手権（1部）」 上記2大会における得点を順に並べ上位12チーム	12チーム
ジュニア選抜 枠	ジュニアナショナル選手を対象とする選抜 チーム	1チーム
	計	16チーム

#### (2) 女子団体

##### 1) 参加条件

①年齢制限は12歳以上（2016年12月31日までに達する者）とします。

##### 2) 出場資格

①団体チーム出場は「別表2・通過基準」に該当することとします。

②チーム補欠としての登録選手は2名までとします。

<別表2・女子通過基準>

2016 年度開催の下記大会の成績により出場権を与えます。

女 子		
大会 枠	全日本ジュニア選手権（1部）	7チーム
	全日本学生選手権（1部）	7チーム
	全日本シニア選手権（1部）	2チーム
成績選 抜枠	「全日本ジュニア選手権（1部）」、「全日本学生選手権（1部・2部）」、「全日本シニア選手権（1部）」上記3大会において大会枠での出場チームを除き得点を順に並べた上位チーム	※1or2チーム
計		16チーム

※「全日本シニア選手権」の出場チーム数が枠数と同数あるいはそれ以下の場合、出場チーム数から1を減じたものをシニア枠として与え、残りを成績選抜枠に組み込み変更します。  
（2チームの場合枠1成績枠へ1、1チームの場合枠0成績枠へ2）

(3) 第71回全日本体操個人総合選手権トライアル  
男子 第71回全日本体操個人総合選手権有資格者

①全日本シニア選手権 1部	上位 20名
②全日本学生選手権 1部・2部（団体選手権）	上位 20名
③男子ジュニア強化部推薦 ※A 枠（3年生含む）：インターハイ上位 2名、 全日本 Jr 上位 2名。 ※B 枠（2年生以下）：インターハイ上位 1名、 全日本 Jr 上位 1名、高校選抜上位 2名。	8名
④協会推薦	6名
合 計	54名

※④協会推薦枠が定数に満たなかった場合は①および②の点数を並べて上位者から定数までの選手に出場権を与えます。本大会までに出場意思確認を行い、有資格者を確定します。

上記有資格者を除く以下の選手を対象とする

全日本シニア選手権 1部	上位 20名
全日本学生選手権 1部・2部（団体選手権）	上位 20名
男子ジュニア強化部推薦 ※インターハイ上位 5名、全日本 Jr 上位 5名。	10名
2015 団体選手権上位 12 チームからの推薦各 1 名	12名
所属推薦（所属から推薦された選手を強化部、審判部で選考して出場者を決定する。申し込む際には過去の成績を添付してください。）	10名
合 計	72名

トライアルの上位 18 名に第 71 回全日本個人総合選手権出場資格を与えます。また大会開催までに出場辞退者が生じた場合はトライアルの次点者から順次繰り上げて出場権を得るものとします。

女子 第 71 回全日本体操個人総合選手権有資格者

①全日本シニア選手権	8名
②全日本学生選手権 1部・2部	18名
③全日本ジュニア選手権	20名
④2016全日本団体上位 8チームからの推薦各 1名	8名
⑤協会推薦	6名
合 計	60名

※①②③について本大会までに出場意思確認を行い、有資格者を確定します。

上記有資格者を除く以下の選手を対象とする

ビデオ申請による推薦(公認審判 1種の 2名による推薦を必要)	最大 48名
---------------------------------	--------

トライアルの上位 12名に第 71 回全日本個人総合選手権出場資格を与えます。また大会開催までに出場辞退者が生じた場合はトライアルの次点者から順次繰り上げて出場権を得るものとします。

(4) 注意事項 ※平成 28 年度の選手登録を済ませた者とします。

- 1) 未成年(20歳未満)の参加者は、ドーピング・コントロールに関する同意書を提出して下さい。
- 2) トライアルへの学生(大学生・高校生以下)の参加者は出場資格を得た大会に関わらず、所属名を学校名またはクラブ名のどちらかを選択できます。その際、今年度の選手登録を済ませて下さい。
  - ①大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
  - ②登録時に双方の連盟に登録しておいて下さい。

※本協会への登録窓口となっている、各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。
- 3) トライアルは、2)における所属の双方を表記することが可能です。
  - ①プログラムに双方の所属を掲載します。
  - ②文字数に制限のある場合(競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等)に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
  - ③②における制限に対し、/で区切り、合計 12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。

例：〇〇〇〇〇クラブ/□□□□高校

- ④このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。
- 4) 団体選手権への外国籍選手の出場はチーム 1 名までとします。(短期ビザではない滞在証明書の写しを提出して下さい。)

#### 4. 競技に関する注意事項

(1) 採点規則

男子は 2013 年版採点規則および男子体操競技情報 23 号(改訂版)までを適用します。

女子は 2013 年版採点規則および女子体操競技情報 23 号までを適用します。

(2) 競技規則(2016 年版 F I G 競技規則に準ずる)

1) 全日本個人総合トライアル

男子

全日本シニア選手権通過者上位 15 名、全日本学生選手権通過者上位 15 名

全日本ジュニア強化部推薦上位 6 名をⅡ班に抽選します。

全日本シニア選手権通過者下位 5 名、全日本学生選手権通過者下位 5 名

全日本ジュニア強化部推薦 4 名、団体枠 12 名、所属推薦 10 名をⅠ班に抽選します。

団体枠の選手変更は監督会議までに届け出て下さい。

女子

推薦資料の成績順に上位 24 名をⅡ班に、他の 24 名をⅠ班に、成績順に各組 6 名で編制します。

演技順は順位の低いものから繰り上がりオーダーとします。

2) 団体決勝

- ①各組 2 チームずつ編成し、交互に演技を行う FIG 決勝方式とします。
- ②男女とも6名の選手の内、3名が演技を行い、その合計得点を得点とします。
- ③オーダーおよび補欠選手との交代の提出は、女子は 11 月 11 日 18:00、男子は 12 日 18:40 までに行ってください。
- ④演技を行う選手の申告は、各ローテーション開始の挨拶を行う際に、変更の有無にかかわらず、D1 審判に行ってください。

⑤班編制

男子

Ⅱ班は、全日本シニア選手権と全日本学生選手権の得点を並べて上位 8 チームで成績順に編制します。Ⅰ班は全日本シニア選手権得点と全日本学生選手権大会の得点を並べて下位 4 チームで成績順に編制します。ジュニアチームは上記チームの種目に続けて当てはめ、ジュニア選抜チームはⅠ班跳馬後半グループに編制しオープン参加とします。組内で前半後半交互に演技を行う FIG 決勝方式とします

女子

女子は、全日本学生選手権と全日本ジュニア選手権の上位各 3 チームと全日本シニア選手権の上位 1 チームをⅡ班に、全日本学生選手権と全日本ジュニア選手権の 4 位チームを抽選しⅠ班とⅡ班に、他のチームはⅠ班に、抽選して編成します、組内で前半後半交互に演技を行う FIG 決勝方式とします。

3) 器械器具について

- ①本大会はポディウム上に器械器具を設置します。セノー社製（世界体操 TOKYO2011 仕様）を使用します。
- ②サブ会場（10 種目）を設営します。

4) 跳躍板について

- ①「跳馬」はハードタイプ（3-3-2）・ソフトタイプ（3-1-2）を使用します。  
(注)バネの取り外しはできません
- ②「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」については、ソフトタイプを使用します。

5) 女子ゆかの音楽について

伴奏曲は CD または MD で、録音は SP モードのみでお願いします。

5. 表彰

- (1) 男女優勝チームには優勝杯を授与します。
- (2) 1 位～3 位にメダル（決勝の正選手 6 名）と賞状を、4～6 位には賞状を授与します。
- (3) 同点は同順位として表彰します。

6. 運営に関する事項について

(1) AD (Accreditation) カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみ AD カードは発行されます。

OAD カードを発行致しますので、会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

○各所属への AD カードの発行枚数と条件は、以下の通りといたします。

役 職	配布枚数	備考
部 長	1 枚	男女の選手が出場のチームでも 1 名分とします。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は観客席での観戦となります。
監 督	1 枚	男女の選手が出場のチームの場合、合計で 2 名分発行します。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は競技エリア外（フェンスなどがある場合はフェンスの外側）まで入ることができます。
選 手	チーム 8 枚	選手 6 名および補欠選手 2 名とします。

コーチ	4 枚	競技中に競技場内に入れるコーチは2名とします。
トレーナー	1 枚	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 競技中は競技エリア外で待機してください。 治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができません。

(2) 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ①本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。
- ②発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
- ③競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ④大会参加者は健康保険証を持参してください。

(3) ドーピング検査について

- ①本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、未成年者（20歳未満）である場合は、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を大会参加時に提出する必要があります。
- ②本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。
- ③血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご留意ください。
- ④日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、（公財）日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認して下さい。また本大会はTUE事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE事前申請についてはJADAウェブサイト<http://www.realchampion.jp/process/tue>で確認して下さい。
- ⑤ドーピング・コントロールに関する同意書につきましては、2015年4月以降に開催された本会主催の競技会（国民体育大会を除く）において提出していただいた同意書が、満20歳となるまで有効となります。すでに有効な同意書を提出済みの方で、内容に変更の必要がない方は、本大会においては再度の提出の必要はありません。

(4) 炭酸マグネシウムについて

- 主催者側で準備したものを使用してください。  
各所属で持参した炭酸マグネシウムは、会場内に置くことはできません。

(5) 演技写真撮影について

- ①本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- ②所属あるいは選手自身の記録のための撮影を希望する方は、大会参加申込み時に申し「撮影許可証」を取得してください。「撮影許可証」は1所属（男女別）につき3枚を上限として発行します。  
撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて撮影してください。

(6) 所属の車両乗り入れについて

- ①本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れを認めます。  
応援目的や事前に申請のない車輛、駐車許可証がない車両は乗り入れを認めません。
- ②車両乗り入れを希望する場合は、大会参加申込み時に申請を行ってください。  
駐車スペースの関係から、各所属からは最小台数にて申告して下さいますようお願いいたします。
- ③大会会期中は「駐車許可証」を大会実施本部より受け取り、車両の見える場所に置いてください。

- ④各所属の車両は、あらかじめ指定された入口から入り、指定された場所に駐車してください。  
⑤ 夜間留置きをする場合は大会本部に届けるとともに許可を得てください。

## 7. 参加申し込み

- (1) 期 日 団体選手権 10月11日(火)～10月20日(木)  
トライアル 10月25日(火)～10月28日(金)
- (2) 申込方法  
①大会申込を <http://jga-web.jp/>にて行います。  
なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。
- (3) 参 加 料 団体1所属につき 30,000円  
男子個人総合トライアル 10,000円  
女子個人総合トライアル 8,000円  
※JASRAC(日本音楽著作権協会)負担金 女子選手のみ1名につき500円  
(団体は3名の演技となるので1所属1,500円)
- (4) 同 意 書 未成年(20歳未満)の参加者で、2015年4月以降に開催された本会主催の競技会(国民体育大会を除く)において提出されていない方は、競技会内ドーピング検査同意書を郵送にて提出をお願いします。
- (5) 連 絡 先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内  
(公財)日本体操協会 TEL 03-3481-2341 FAX 03-3481-2344  
「第70回全日本体操競技団体選手権大会 参加申込」係

## 8. 帯同審判員の派遣について

男女とも団体総合選手権に参加する所属は、1種審判資格を有する1名の審判員を派遣しなければなりません。派遣できない場合には、審判員委嘱費として50,000円を納入してください。また、11月11日(金)に開催される、「個人総合選手権トライアル」にご協力をお願いいたします。なお、当日にかかる経費(交通費・宿泊費・日当)につきましては協会負担といたします。

- 届け出期限 男子ジュニア枠・女子ジュニア枠および学生選手権枠 10月14日(金)  
男子シニア枠および学生選手権枠・女子シニア枠 10月18日(火)  
大会連絡先まで届け出てください。

## 9. 全日本体操個人総合選手権トライアルについて

- 男子申込期限 所属推薦選手 10月25日(火)  
団体枠出場者および予備登録選手 10月28日(金)  
女子DVDによる申請 10月20日(木)  
※申込先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内  
(公財)日本体操協会 TEL 03-3481-2341 FAX 03-3481-2344  
「第71回全日本体操個人総合選手権男子トライアル 参加申込」係

## 9. その他

- (1) 班編成の公開抽選会について  
<日 時> 平成28年10月22日(土) 15:00~  
<会 場> 岸記念体育館 4F 特別会議室 所在地: 東京都渋谷区神南1-1-1
- (2) 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。
- (3) 上記出場資格以外の内容は変更の場合があります。